

第18号

○発行年月日
平成24年1月15日
○発行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
☎0470-28-2422
FAX0470-28-2424

にじのかけはし



毛虫蠢動す

冬の寒い朝

地面に落ちた木の枝に

氷が張っていました

棒で突くと氷がバラリと落ちて

樹皮を覆い隠すほどたくさんの

毛虫たちが姿を現しました

それは、肩を寄せ合って

必死に暖をとっているように

見えました

「春」の下に「虫」を2つ書いて

「蠢く」と読む字があります

はつきりとはないけれど

絶えず全体がわずかに動く様…

厳冬の中に春を待つ

毛虫たちの蠢動です

新しき年を迎え

中里ワークホーム施設長

岡田 義之



新しき年を迎え、この一年間を振り返りますと、東日本大震災と福島第一原発事故と大災害の年でありました。また時を経てこの出来事が薄れることなく、一人ひとりが自分にできる事は何かを考えることの大切さと、その実行の尊さを知る年であったと思います。

私たちの法人の理念は「自他相愛」という言葉で定めています。これは、自分の事を大切にしましょう、そして他者も自分と同じく大切に想いましょうということなのです。

利己主義は人と人との争いを招き、その集まりを混乱させやがて社会へと拡大していくものです。その争いを起こさない為にも「自他相愛」の気持ちで、施設を利用される方やそのご家族、職員間そして全ての人に対し接することを求めています。

さて本年は、現在グループホーム(定員8名)を現在建設中です。また館山市山本地区のテニスコートのクラブハウスを改修して、生活介護事業所「桜の里」(定員20名)の開設に

向けて準備中です。家庭で生活し支援の必要な方や、軽作業に取り組みたい方、日中活動の場が必要な方々にご利用いただきたいと思ひます。

施設を利用されている方々がより豊かに、生活されている方々がより豊かに、幸せに暮らしていけるよう「自他相愛」の気持ちを施設職員全員で共有し実践していきたいと思ひます。

本年もご指導ご協力よろしくお願い致します。



「グループホーム」地鎮祭の様子▶



◀「桜の里」改修前の建物

インフルエンザの予防対策

看護師 岩成 美穂

今年もインフルエンザが流行する時期がやってきました。

一般的に、インフルエンザの症状としては、「急激な高熱」「関節痛」「倦怠感」などの全身症状が強く表れます。これらの激しい症状は通常5日間程度続くとされ、また気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化する恐れもあるため高齢者や抵抗力の弱い方々は、特に注意が必要です。

日常できる予防法として、

- 1、栄養と休養を十分取る。
- 2、人ごみを避ける。
- 3、適度な温度、湿度を保つ。
- 4、外出後の手洗い、うがいの励行。
- 5、マスクの着用。

と言われていきます。

とても基本的な事ですが、インフルエンザやその他の流行性の感染症は何より予防が大切です。

そこで中里の家では、利用者の方の健康管理の一環として朝の一斉検温、加湿機能付き空気清浄機等の設置を実施し、症状の早期発見や環境面での予防に配慮しています。

また散歩や作業後のうがい、手洗い、食事前の手指消毒など、昨年度に増してより予防に努めています。

うがいや手洗いはこの時期だけではなく日々の生活に欠かせないものなので年間を通じて実施・継続していきたいものです。

最近、自ら進んで手洗いをを行う姿も見受けられとても嬉しく思っています。

今後もインフルエンザ感染「ゼロ」を目指して職員一丸となって支援していきたくと考えております。

ふれあいショップ平砂浦

支援員 安西 裕介

南房総では、1月になるといちご狩り、花摘みなど春の訪れをいち早く感じようと観光客の方々でにぎわいを見せます。ふれあいショップ平砂浦でも昨年の10月に農産加工班の利用者の方々に定植していただいたポピーが1つ又1つと開花して畑を彩ってきました。花摘みをはじめ、切り花や中村屋さんの焼きたてのパン、施設製品など各種取り揃えておりますので、お近くにお寄りの際は、是非、ご来店をお待ちしております。ふれあいショップ平砂浦では、昨年の10月で7周年を迎えることができました。今後も地域に愛されるお店作りに努めていきたくと思ひます。



射的ゲームに夢中!!

中里 ふれあい祭

支援員 山口 隆史



大好評だった「杏仁豆腐」

11月3日、昨年度より文化の日にふれあい祭を実施し2年目となりました。

今年度は館山市立第3中学校の吹奏楽部、True Colors ミュージカルコンサートの皆さんにご協力いただき盛大に行うことができました。

毎年恒例の新米すくい取りや行列の出来るラーメン屋などを準備し今年も多くの来場者の皆様とともに楽しい時間を過ごすことができました。

吹奏楽の演奏では、数々のヒットメドレーを演奏していただき、観客からは盛大な拍手が！ミュージカルコンサートでは初めて見る本格的なミュージカルに利用者の皆さんも圧倒されていました。

1日を通し、多くの方々にご来場いただき、過去最大の来場者数となりました。次回も、気軽に楽しんで参加いただける催しものを検討していきたいと思ます。



米すくい取り いざ挑戦!!



大盛況!! 保護者会バザー

ふれあい祭にて
行われたバザー収益は
222,555 円でした。
ありがとうございました。

今後各イベントへ出店して行く予定です。ワークホームのやきそば屋台を見かけたら是非、1個と言わず、2個3個と家族や恋人に！値段も1パック300円と手頃になっています。



製麺班では昨年より新商品開発をはじめ、苦勞のすえどうとう完成しました。その名も「蒸し中華」です。ピンとこない方もいらつしやると思いますが、要は「やきそば」です。蒸す↓茹で↓蒸すと繰り返し、手間暇かけてモチモチの蒸し中華麺を作り、鉄板で一気によきそばへと仕上げていくのです。何度も試作をし、今では製麺班が自信を持って売り出せる商品となりました。

11月の市民祭りでデビューとなりましたが、おかげ様で準備していた100パックが短時間で完売となりました。その後イベントでの出店はありますが、和麵家中里での出前のメニューや給食として新たに加わりました。



支援員 豊崎 千恵

中里の家

一泊旅行

支援員 相川 宏

中里の家では、9月29日・30日にかけて、利用者さんとご家族の方々と共に、静岡県の伊豆修善寺方面に旅行に行つて参りました。利用者さんにとっては待ちに待った旅行。出発前から事前情報提供板の前には黒山の人だかり。

『何に乗る?』『何を食べる?』『担当者は誰?』『〇さんと一緒だね、嬉しい』等の声が聞かれ気分は最高潮。早くバスが来ないかなと何度も座席表で自分の名前を確認する方の多さが、この旅行の期待度の高さを物語っていたように思います。

旅行は、9月末とあって残暑が少しありましたが、両日とも晴天に恵まれ絶好の行楽日和。1日目の芦ノ湖遊覧船では、午後1時台の便に乗船し、キラキラと輝く遠くの湖面を眺めながら透き通る水面を切るようにして走る船上では、心地良い風が皆さんをつつみ込んでいました。2日目の虹の郷では、バラ風味のソフトクリームを2個、3個とチャレンジする方や、活き鮎の塩焼きに舌鼓をうつ方などがいて、その



芦ノ湖にて

一瞬一瞬が旅の思い出として皆の心に刻まれ、そこがこの旅行の醍醐味だなと再認識させてくれるような充実したものとなりました。また、それ以上に『これぞ日本の宴会スタイル』での余興やのど自慢で盛り上がったのですが、それは参加した方だけが得られる大切な思い出として内緒にさせていただきます。

何はともあれ、140名という大所帯での旅行を無事行えたのも、様々な方のご協力を得たからだと思います。この場を借りて御礼申し上げます。次回また元気に皆さんと旅行に行ける事を楽しみにしています。ありがとうございました。

中里ワークホーム

一泊旅行

支援員 川上 賢人

去る、11月21・22日に85名が参加し、恒例の一泊旅行が行われました。今回は、箱根・伊豆方面。

その目的は、利用者・ご家族・職員との親睦を深めると共に、日頃の疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ることでした。

旅行当日、とても良いお天気の中、私達は期待に胸を膨らませ中里を出発しました！横浜・御殿場を経由し、1日目の目的地である、箱根関所跡へ到着しました。少し肌寒くはありましたが、関所内を見学しました。その後、一路ホテルへ向かいました。車中では、バスガイドさんの上手な進行にのせられながら自慢の喉を披露し合いました。ホテルに到着すると、温泉にゆったりとつかり、露天風呂や広い浴室が、私達の疲れを流してくれました。会食時には、職員によるコントや利用者さんと職員とのAKB48のダンス披露がありました。また、利用者・ご家族の皆さんでカラオケ三昧。特に利用者の皆さんは積極的にマイクを持つ



AKB48!?!?

ち、笑顔をいっぱい浮かべて歌っていました。

そして、2日目。朝食をしっかりとつた後、富士サファリパークへ向かいました。バスに乗車したままパーク内を見学。ライオン、ゾウ、キリンを見て驚きの連続でした。普段見られない動物との出会いに大感激でした。

最後になりましたが、旅行を通じて日頃見ることのできない笑顔や意外な一面を垣間見ることができ、嬉しく思いました。これからも利用者さんの笑顔を増やしていけたらと思います。今年も皆様のご理解とご協力をいただき、無事終えることができました。ありがとうございました。

♪音楽祭初参加♪

支援員 加藤 智大

11月5日に南総文化ホールで行われた音楽祭に初参加させて頂きました。

当日は天候に恵まれ秋晴れとなり、気持ちの良い出発となりました。道中は利用者さんよりも職員の方が緊張しており、気分を落ち着かせようと、となりのトトロの「さんぽ」を皆で歌いました。なぜこの曲を歌っていたのかと言いますと、音楽祭での私達の発表曲なのです。「本番は元気に大きな声で歌おう!!」エンドレスで歌っていると南総文化ホールへと着いてしまいました。

ホールへ着いたら、まずは練習です。本番前の練習時間は20分しかありません。皆必死に練習です。(特に職員が…) 練習後は厚食を食べに行き、至福のひとつを過ぎ、お腹も満たされ、やる気も上がり、いざ出陣です。私達の発表は4番目なのでホール到着後舞台裏で支度します。皆でお揃いの衣装(白のシヨールとネクタイ)を身にまとい気分は聖歌隊(?)。待ち時間、利用者さんも緊張しているようであり、ソワソワと落ち着かない様子です。

かし、その時はすぐに来ました。前奏者のピアノの音色が聞こえなくなり、代わりに拍手がホールへと響き渡り、いよいよ私達の順番です。利用者さんは胸を張り堂々と入場。前列の席には今回出場されない利用者さんが応援に来てくれました。

伴奏が始まり「歩こう♪歩こう♪私は元気」と元気に歌い始めます。皆さんは大きな声でホールの隅々に歌声を届けると、満場の拍手が聞こえてきました。大拍手に驚きと同時に達成感がこみ上げてきました。利用者さんにとっても、大観衆の前で歌を披露する機会はそうそうありません。利用者さんに沢山の経験をさせて頂き、良い思い出を作ってもらったこの機会に感謝し、次回も参加させて頂ければ幸いです。音楽祭の参加に際し、ご理解ご協力頂き、ありがとうございます。



会話がはずんで…。

退職女性職員の会
安房支部 館山部会

車座になって、土ありカビあり半生ありの大豆の枝からからを割って実を取り出す。不慣れな私達は手際が悪い。でも「OO先生だ。」「どこに住んでるの。」「髪切ったの。」などと隣同志で語らいが始まると、指の疲れと腰の痛みと格闘しながらも自然に笑顔になり癒されていた。毎年の作業を通して顔なじみになっている人もいる。

職員の方々からもいろいろと教わる事が多かったです。豆は使えるのは1/3以下になり、さらに手間と愛情をかけて味のある納豆として販売



力を合わせて大豆の実取り作業

するとのこと。ぜひ味わいたいと思いました。

「また来て下さい。」と言われ、貴重な体験をさせていただき、今回も感謝の気持ちがいっぱいです。

館山鮭商組合 出張サービス

栄養士 川名 卓也



鮭に大満足!!

10月19日、館山鮭商組合様が出張サービスに来所して下さいました。前回は残念な事に中止になってしまった為、今回の来所はその分楽しみにしていた利用者さん・職員が多かったと思います。

マグロ・カンパチ・サーモン・ほたて・うに・いくら・あなご・たこ・いか・かに・甘えび・かんぴょう巻き・なっとう巻き・ネギトロ巻き・てっか巻き・たまごとネタも豊富でした。中でも「マグロがおいしかった」と皆さん言っていました。鮭商組合の慰問が今回初めての利用者さんは、はじめてだから良かった・また来てほしいなどの感想もありました。また、生食が苦手な利用者さんの為に特別メニューを作っていました。

利用者さんが楽しみにしている出張サービスです。これからもぜひ続けていただければと思います。

中里の家

手をつなぐスポーツの
つどいに参加して

支援員 鈴木 健一

去る11月9日、第38回手をつなぐスポーツのつどいが千葉県総合スポーツセンターで開催され、中里の家では利用者15名、職員6名が参加しました。当日は気温が低く冬のような寒さが心配でした。しかし、千葉県内のたくさんの方々の施設の方々の、なのはな体操が始まると皆さん元氣よく体操していました。競技では徒競走、玉入れ、丘を越えて、パン喰い競争に参加しました。競技待ちで並んでいる時にも他の施設の人と話をすることもありました。競技の中では皆パン喰い競争が大好きな様子で、とても頼もしい姿が見られました。競技後には戦利品のパンを美味しく食べていました。午前中の競技が終了するとお弁当の時間♪多勢の人達と外で食べるお弁当はまた格別の味わいだっただけではないでしょうか？午後からは職員4名でのリレーがあり、応援にも熱が入りました。結果は残念ながらあと一歩の所となってしまいました。充実した一日となりました。

おいしい。
アンパン!!



ピ〜ス!!



たのしいー!!



やるぞ〜!!



クリスマス会

支援員 大岩 真人

12月24日、18時30分から、中里の家・ワークホール合同でクリスマス会を行いました。

例年は地域の演奏家に来ていただいていたの音楽鑑賞が主でしたが、今回は趣向を変えて、合唱やゲームなど、利用者さんがお互いにより楽しめる内容に工夫を凝らしました。

会場の多目的ホールは、イルミネーション・ツリーで、とても華やかです。

合唱は、多くの利用者さんがステージ上に集まり、支援員、大野のピアノ伴奏で、シングルベル等の大合唱。席の後方からは鈴で盛り上げてくれる方々もたくさんいました。

次は、サンタに扮する法人役員の方からのプレゼント、その後はお楽しみ抽選会、最後にクリスマスソングを合唱、会は終了となりました。

クリスマス・イブの夜を、素直に楽しく過ごせたいと思います。次回も良い企画を考えたいと思います。



サンタクロース登場



メリークリスマス♪

もちつき会

支援員 鈴木 健一

去る12月28日もちつき会が行われました。もち米を蒸す前はもちをつくる人がいるか不安もありましたが、いざもち米が蒸し上がると皆我れ先にキネを持ってウスの周りに。皆さん最後のもち米まで順番待ちをされていました。その後は自分達でついたもちをあんこやきなこ、からみにつけ、美味しくいただきました。

みんなでもちつき
ペタンペタン...



きなこもち最高ー!!



法人研修会に参加して

支援員 山田 正人

10月22日に中里ワークホーム多目的ホールで法人研修会が実施されました。私自身初めてであった為、緊張しながらの参加となりました。

まず宮崎理事長より、「法人経営と理念そして職業人としてのあり方」について講演がありました。講演後、理念の実践をする上で大切な七つのテーマについて七グループが各テーマ毎にグループディスカッションをしました。

私が討論に参加させて頂いたテーマは「自他相愛の理念を先ず理解して欲しい」というものです。法人の理念として「自他相愛」の精神があります。自他相愛とは、「自分を大切に想うように他者も同じく大切に想うこと」です。これは、中里に入る際にまず初めに宮崎理事長から教えていただいた言葉です。自分と他人の区別をせず、徹底的に尽くしていく事が、自分の本当の喜びになると理解し行動して欲しいとの内容でした。

グループ構成は、支援員と各業務の方が集まり、それぞれの業務や関わりの中で自他相愛について感じた事等について話し合いました。私は支援員としての仕事内容から自他相愛の理念を実践できているのか考えてみました。私が所属する生活班は

自分の気持ちや考えを言葉で表現することが苦手な方が沢山いらっしゃいます。そのような中で利用者の苦しみを取り除き、楽しさ・快適さをどう提供できるだろうかと考えています。私が実践しているのは「衣服の繕い」です。乾燥機使用で傷んでほつれている衣服の繕いを行ってききました。利用者の方々が直した衣服を不自由なく着ているのを見て嬉しく感じます。

今回研修に参加させて頂いて職員としての心得だけでなく、自身を振り返る機会を与えて頂きました。日々の業務の中でないがしろにしてしまいたいような事こそ大事なことでと再認識できました。研修で一番印象に残った言葉を紹介します。「一職十年。更に讃ぜよ三十年」



グループディスカッション
討論中



テーマ
「災害における施設の役割について」

障害者雇用の促進を目指して

障害者就業・生活支援センター中里 杉村 利之

当法人では本年度半ばより県からの委託を受けて、就労支援ネットワーク強化・充実事業を取り組んでいます。本事業は安房地域における就労支援に関わる機関との組織的・人的連携の強化及び人材育成を図る事を目的とした事業で、現在までに次のような取り組みを実施いたしました。

●意見交換会

ハローワーク館山の石井氏を講師としてお招きし、安房地域の障害者雇用の現状をテーマに意見交換会を行いました。盛大な生け花や金屏風等があり、披露宴を思わせるような会場は多少緊張感を煽りましたが、行政・ハローワーク・特別支援学校・医療機関・相談支援機関・福祉施設等、41名の方々に参加をいただき「顔の見える関係づくり」の場となりました。

●特例子会社見学会

研修会という意味合いと参加された方々の交流を深めることを目的にキユーピー株式会社の特例子会社である「株式会社キユーピーあい」（東京都町田市）の見学会を

実施しました。障害者雇用のポイントや支援機関との関わり、また実際に現場を見学させていただき色々な部分で学ばせていただきました。

支援機関の連携が深まることで就職や継続就業を目標とする方の希望する暮らしも、より現実味を帯びると思われれます。支援を必要とする方々の様々なニーズを叶えるべく、今後も支援機関の連携強化を図る取り組みをしていきたいと思えます。



意見交換会にて



新職員紹介



調理員
吉田 倫意

今回中里の家に、お世話になります、吉田倫意です。初めての仕事になります。前の仕事と違い、戸惑いながら、させていただいています。皆様には、ご迷惑をおかけしますが、お願いいたします。



支援員
山口みどり

初めまして、山口みどりと申します。ちよこや男まさりの五十過ぎのおばさんです。"シヨップ"と"家"のお仕事に毎日頑張れるのがとても今、楽しくて幸せです。これからもどうぞ宜しくお願い致します。ちなみに趣味は"カラオケ"と"書道"です。



支援員
染谷 里美

10月末より中里の家に勤務させて頂いております。染谷里美と申します。笑顔に包まれて癒される日々を送っています。この笑顔を絶やさぬ様に楽しくお仕事させて頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



支援員
山本 優子

11月より中里の家の支援員として勤務させて頂いております。利用者様が笑顔で過ごせるよう、支援に努めたいと思っております。今後もしよろしくお願いたします。



支援員
大橋 隆弘

初めまして、12月から中里の家で勤務をいたします。大橋です。現在、三芳中学校で図書サポート員としても勤務をしています。福祉の仕事は初めてですが、まずは早く利用者の皆さんの顔と名前を覚えるよう努力します。



●アドレス
<http://www.nakazato.or.jp/>

ホームページ
開設しました
本部事務局 岡田 義之

以前ホームページを開設していましたが管理が難しく中止してしました。しかし時代はインターネットが中心、そこで今回制作管理を外部へ委託しました。

「社会福祉法人あかね A型事業所 ワークアイ ジョブサポート」と契約しました。法人や施設の様子、お知らせやブログを今後盛り込み常に新しい情報で更新していきたいと頑張っていますので、覗いてみてください。

ボランティアのお知らせ

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さる方、心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

- 中里の家
館山市中里 288-1
☎ 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp
 - 中里ワークホーム
館山市中里 291
☎ 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp
- HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>

編集後記

今年も保護者や地域の方々を情報でつなぐ「かけはし」となるべく利用者の生き生きとした姿と楽しい様子や授産活動について、多くの方々にご理解いただけるよう広報誌作りに励んでいきたいと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。

- 中里の家担当/小林・鈴木(高)・大野・小原・田村(英)・豊崎
- 中里ワークホーム担当/高橋(真)・川上・高橋(麻)・榎本